

令和7年度地域振興推進費事業総括表

提出 区分	整理 番号	課題 区分	事業名	事業概要	事業期間	事業費 (計画額)	担当課
新規	1	B	コミュニティ放送を活用した地域情報の発信事業	諏訪管内の現地機関等の施策・取組等の情報や県政についての身近な情報について周知するため、コミュニティ放送を利用してタイムリーに発信する。	R7.5～R8.3	330,000	総務管理課
新規	2	C	信州まつもと空港利用振興事業	信州まつもとと空港利用者の増加に向けた事業(空港利用促進PR事業)や、空港を起点とした観光振興、賑わい創出を図るための事業(レンタカー利用促進事業)を実施し、空港及び地域のさらなる活性化や魅力発信を推進する。	R7.4～R8.3	95,000	企画振興課 (松本地域振興局)
新規	3	C	幹線バスの利用促進及び利用状況調査	県が主体的に関わることでとされた幹線バスの品質保証と利用促進に向け、以下の調査を行う。 ・現利用者の状況と意向を把握するための調査 ・沿線付近の病院・高校等の利用者へのアンケート調査の実施及び利用促進グッズの配布	R7.4～R7.9	100,000	企画振興課
新規	4	C	諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業	諏訪湖創生ビジョンの目指す姿の一つ“湖上や流入河川では、ヨットやボート、カヌー、カヤックなどを楽しみ、湖畔の砂浜では泳いでいる人々の姿がある”の実現のため、地域住民の親水意識醸成に資するイベントを開催するとともに地域住民の意見を踏まえた効果的かつ継続可能な取組の検証を行い、諏訪湖での新たな水辺アクティビティの可能性を探る。	R7.4～R7.9	1,200,000	企画振興課
新規	5	A	自然保護体験モニターツアー	自然環境保全活動の関わり手不足解消を目指し、保全活動をコンテンツとして捉えてもらうためのニーズや課題を探るためモニターツアーを実施し、参加者に評価してもらい可能性を探る。	R7.4～R8.3	680,000	環境課
新規	6	C	ソーシャルメディアを活用した諏訪地域観光PR事業	インバウンド需要獲得のため、地域の魅力を効果的にPRできるインフルエンサーを介し、特に観光需要が少ない冬季に誘客を促進するPRを行う。 具体的には、24-25シーズンに撮影した冬季モデルコースの動画を25-26シーズン前からソーシャルメディアで配信する。	R7.6～R8.3	1,200,000	商工観光課
新規	7	C	諏訪湖スマートインターチェンジ供用開始に伴う広域観光PR	諏訪湖SICの共用開始に伴う移動時間短縮効果を滞在時間の延長、観光地消費額の向上につなげるため、地域の周遊観光や諏訪湖周の楽しみ方等をPRするイベントの開催、パンフレットの改定を行う。	R7.4～R7.12	500,000	商工観光課
新規	8	C	滞在型観光促進PR事業	滞在型観光の促進と観光地消費額の向上のため、温泉や歴史をテーマに宿泊を伴う来訪意欲を喚起する観光PRをセミナー形式(「諏訪旅のしおり」を作成)で行うとともに、滞在・周遊に対するニーズ分析を行う。	R7.5～R8.3	400,000	商工観光課
新規	9	A	諏訪湖結氷時安全対策推進事業	諏訪湖結氷時の注意喚起と、御神渡しへの期待と関心を高めるため、ライブカメラを設置し、諏訪湖の状況をライブ配信する。	R7.11～R8.3	450,000	商工観光課
新規	10	B	ものづくり地域としてのエコシステム構築推進事業	地域企業の付加価値労働生産性向上及び次世代人材の育成を図るため、省力化・効率化等に取り組む事業所(ベンチマーク企業)におけるフィールドワークや、他社の事例・効果等に学び、自社へ展開する勉強会を開催する。	R7.5～R8.3	276,850	商工観光課
新規	11	C	ハケ岳西麓ワイン等の認知度向上事業	ハケ岳西麓ワインバレーの認知度向上と、諏訪地域で栽培されているぶどうを原料にしているワインの銘柄や品質を知っていただく機会を提供するため、実需者や一般消費者を対象にしたワインセミナーを開催する。	R7.8～R8.3	400,000	農業農村支援センター
新規	12	A	農産物直売所誘客促進事業	諏訪産農産物の認知度向上、消費拡大と農産物直売所の活性化を図るため、既存の「直売所マップ」について、農産物直売所や取り扱い農産物の内容を改訂し、管内のホテル・旅館、高速道路SAなどで配架・配布する。	R7.6～R8.1	299,600	農業農村支援センター

新規	13	C	浮漁礁設置に係る生物調査	令和5年度に県民参加型予算で設置した人工浮漁礁について、魚介類の生息状況を確認するため、毎月1回(5月～11月)、投網及びエビかごによる漁を行い、生息している魚種・数量を調査する。	R7.5～R7.11	115,500	農業農村支援センター
新規	14	C	諏訪湖魚食性鳥類対策推進事業	令和6年度に開催した漁業振興ワーキンググループにおいて、漁業者、観光業者からカワウなど魚食性鳥類の対策が強く求められたことから、漁業関係者、行政等の関係機関に加え、野鳥の会などを含めてワーキンググループにおいて対応策の検討を進めるとともに、カワウ忌避バンドの敷設を試行的に実施し、追い払い効果を検証する。	R7.7～R8.2	59,210	農業農村支援センター
新規	15	C	ヒシ除去量増加に向けた新たな仕組みの構築事業	総合5か年計画及び諏訪湖創生ビジョン(改定版)に位置付けられているヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みをつくるため、簡便かつ費用のかからない方法によるヒシ除去を試行的に実施し、効果を検証する。	R7.8～R8.1	77,000	諏訪湖環境研究センター
新規	16	A	2040年を見据えた医療提供体制構築事業	今後の人口減少時代を見据え、諏訪地域における持続可能な医療体制の構築に向け、病院の枠を超えた医療提供のあり方や役割分担、連携等について考えるセミナーを開催する。	R7.11～R8.3	180,000	保健福祉事務所